

VMware App Volumes

ソリューションの概要

Q：App Volumes について教えてください

A：VMware App Volumes™ は、Horizon、Citrix XenApp、Citrix XenDesktop、VDI、公開アプリケーション、および RDSH 環境に適した、アプリケーションとユーザーの管理ソリューションです。このソリューションにより、IT コストを最大 70 % 削減しながら、アプリケーションの迅速な提供や、アプリケーションとユーザーの統合管理を行うことで、最新のデスクトップおよびアプリケーション環境を実現できます。

Q：App Volumes を使用するメリットは何ですか

A：App Volumes は、Horizon、Citrix XenApp、Citrix XenDesktop、および RDSH を使用した仮想環境に、新しいレベルのアプリケーション提供アーキテクチャとユーザー環境管理を提供します。これにより、IT 部門は、コストの削減と生産性の向上を実現できます。具体的には次のようなメリットがあります。

- 複数のデスクトップに一齐にアプリケーションを展開できるほか、容易なパッケージングと、確実なインストールの実行によって、ストレージと運用のコストを最大 70 % 削減できます。
- アプリケーションやユーザー プロファイルの反復的なメンテナンス作業から重要な IT リソースを解放し、イメージの管理に費やす時間を最大 95 % 削減します。
- 従来型のアーキテクチャを維持するのではなく、ビジネスを推進するためのカスタマイズされたアプリケーションとユーザー環境を提供することで、IT スタッフを増やすことなく従業員の生産性と満足度を高めます。

Q：App Volumes の仕組みについて教えてください

A：App Volumes を使用すると、規模を問わず迅速に、アプリケーションを仮想デスクトップや公開アプリケーション環境に提供したり、アップグレードしたりできます。アプリケーションは読み取り専用の仮想ディスクに格納され、ボタンをクリックするだけで、個別またはグループ単位の仮想デスクトップ、公開アプリケーション サーバ、またはユーザーに即座に関連付けることができます。エンドユーザーにとっては、これらのアプリケーションの動作は、物理的にインストールされているアプリケーションと変わりありません。App Volumes が構築されているプラットフォームは、ユーザー プロファイルとポリシーの管理、アプリケーションの分離、および高度な監視機能もサポートします。

Q：App Volumes 2.11 の新機能について教えてください

A：App Volumes 2.11 の主要な機能の一つに、Instant Clone のサポートがあります。Horizon 7 Enterprise のお客様向けにジャスト イン タイム デスクトップ提供を実現します。Instant Clone テクノロジー (Horizon Enterprise で利用可能) による仮想デスクトップの迅速な展開、App Volumes によるリアルタイムでのアプリケーションの提供、User Environment Manager によるコンテキストに応じたユーザーとアプリケーションの設定を組み合わせることで、IT 部門は、完全にカスタマイズされたデスクトップをジャスト イン タイムで提供できます。ジャスト イン タイムのデスクトップをはじめとする、このリリースに含まれる機能の詳細については、リリースノートを参照してください。

Q：Citrix XenDesktop 向けの Instant Clone 機能のデモを見ました。この機能の詳細情報や提供開始時期について教えてください

A：Project Orion と呼ばれている、Citrix XenDesktop 向けの Instant Clone 機能では、XenDesktop 仮想デスクトップのクローンを迅速に作成して展開できます。App Volumes と VMware User Environment Manager™ を併用することで、Citrix XenDesktop 環境にジャスト イン タイムのデスクトップ機能を提供できます。開発は現在進行中で、機能は技術プレビューの段階です。詳しくは、<http://blogs.vmware.com/euc/2016/05/watch-citrix-xendesktops-provision-faster-than-ever-imagined.html> を参照してください。

Q：App Volumes 3.0 について教えてください

A：App Volumes 3.0 は、拡張性に優れたアプリケーションおよびユーザー管理プラットフォームとして、2016 年第 1 四半期にリリースされました。このプラットフォームは、User Environment Manager との連携などの機能を備えており、クラウドベースの環境向けに設計および最適化されています。App Volumes 3.0 の主なユーザーは、Horizon Air などのクラウドベースのテクノロジーを使用しているお客様です。お客様からフィードバックを受け取ることで、App Volumes 3.0 プラットフォームを迅速にアップデートすることができます。

App Volumes 3.0 は、Horizon 7 のお客様に評価していただく目的で提供していましたが、オンプレミス環境で App Volumes を使用しているお客様の本番環境では、引き続き App Volumes 2.x ブランチの使用を推奨します。このブランチは、App Volumes 2.11 以降にリリースされるイノベーションによって進化を続けます。将来的には、App Volumes 2.x ブランチの機能と App Volumes 3.0 の新しいイノベーションをオンプレミス向けに統合するとともに、既存のお客様への移行パスを提供する予定です。

Q：App Volumes 3.0 の新機能について教えてください

A：App Volumes 3.0 は、User Environment Manager との連携など、さまざまな機能を持った新しいプラットフォームであり、Horizon Air などのクラウド ベースのテクノロジーに対応するように設計されています。このプラットフォームには、次の機能があります。

- AppToggle：単一の AppStack 内でユーザーごとの権限付与とアプリケーションのインストールが可能になり、高い柔軟性が実現します。管理が必要な AppStack の数を削減し、ストレージ容量と管理コストをさらに低減し、パフォーマンスを向上させます。単一の AppStack 内におけるアプリケーションの共有や異なる依存関係の設定が可能です。
- AppCapture with Applsolution：コマンドライン インターフェイスでアプリケーションのキャプチャとアップデートを容易に実行できるので、アプリケーションのパッケージング、提供、および分離が簡素化されます。IT 部門は、コマンドライン インターフェイスを使用して、AppStack の作成を異なるチームに割り当てたり、複数の AppStack を統合して提供と管理を簡素化したりできます。さらに、Applsolution のサポートによって、AppCapture は VMware ThinApp とも連携します。これにより、IT 部門は、AppStack を介してネイティブ アプリケーションと ThinApp アプリケーションを一貫性のある単一のフォーマットで提供できます。
- AppScaling with Multizones：サイト間で AppStack を複製することで、複数のデータセンターにわたってアプリケーションの統合的な可用性を実現します。自動インポート サービスによりファイル共有がスキャンされ、複数の vCenter Server インスタンス全体でデータストアに AppStack が追加されます。
- 統合管理：App Volumes の基盤となるアプリケーション管理および監視の統合プラットフォームは、パターンを認識してシンプルで強力なワークフローを作成し、迅速なプロビジョニングとアプリケーション ライフサイクル管理を実現します。コンテキストを認識するユーザー ポリシーとプロファイルの管理により、この新しいプラットフォーム内のユーザーを管理します。
- 統合管理コンソール：シンプルな管理ビューを使用して、アプリケーションの配布と管理、ユーザー ポリシーの適用、およびデスクトップと公開アプリケーション環境のプロアクティブな監視を実行できます。

Q：新しい App Volumes のエディションについて教えてください

A：App Volumes には、App Volumes Enterprise、App Volumes Advanced、App Volumes Standard の 3 種類のエディションがあります。

- App Volumes Enterprise (旧称 Horizon Application Management Bundle)：エンタープライズ アプリケーションおよびユーザーを管理する包括的なソリューションです。Citrix XenApp および Citrix XenDesktop の環境に、アプリケーションの提供、分離、および End-to-End の監視機能を提供します。

- App Volumes Advanced (旧称 App Volumes)：Horizon、Citrix XenApp、Citrix XenDesktop、RDSH の仮想環境を使用しているエンタープライズ企業に適した、アプリケーションおよびユーザーの高度な管理ソリューションです。

- App Volumes Standard：Horizon、Citrix XenApp、Citrix XenDesktop、および RDSH の仮想環境に適した、アプリケーションおよびユーザー管理ソリューションです。

Q：App Volumes Enterprise を利用できるのは、Citrix 製品を使用しているお客様のみですか

A：はい。Horizon のお客様は、Horizon Enterprise Edition で、このバンドルと同じ機能をご利用いただけます。

Q：App Volumes は Horizon Enterprise で利用できますか

A：はい。

Q：Horizon、Citrix、および RDSH 環境と App Volumes は、どのように連携するのですか

A：App Volumes は、Horizon、Citrix XenDesktop、Citrix XenApp、および RDSH 環境に、VMDK または VHD を通じてオンデマンドでネイティブ アプリケーションを提供します。仮想デスクトップ、アプリケーション サーバ、またはアプリケーションは変更されません。さらに、ノンパーシステント (非持続型) プールとパーシステント デスクトップのメリットを活用できるため、ストレージと運用にかかる費用を大幅に削減できます。公開アプリケーション環境では、App Volume を使用してオペレーティング システム イメージとアプリケーションを分離することで、管理するイメージの数を減らすことができ、アプリケーションの反復的なメンテナンス作業も不要になります。App Volumes を使用すると、ユーザーがデスクトップ間やアプリケーション間を移動するときにユーザー プロファイルとポリシーが動的に割り当てられます。また、IT 部門は、Horizon および Citrix の環境の健全性をプロアクティブに監視できます。

Q：仮想化されていない PC 環境で App Volumes を使用することはできますか

A：一定範囲の物理環境を対象としたユースケースを検討中です。

Q：このソリューションにより、ネットワーク、ストレージ、またはコンピューティングのオーバーヘッドが発生しますか

A：いいえ。App Volumes は、ストレージの I/O と使用量を削減し、ネットワークとコンピューティングにもほとんど影響しません。

Q：App Volumes におけるユーザー データの扱いについて教えてください

A：デバイスまたはユーザーのデータやユーザーがインストールしたアプリケーションを、単一の書き込み可能なボリュームに格納できるオプションが用意されています。ユーザーが別の仮想デスクトップに移動しても、データおよびユーザーがインストールしたアプリケーションを引き続き使用できます。ユーザー プロファイルとポリシーの設定は、プラットフォームのユーザー環境管理サービスを通じて管理できます。

Q：App Volumes と Mirage の違いについて教えてください

A：App Volumes は、仮想環境向けの、アプリケーションとユーザーの管理ソリューションです。VMware Mirage™ は、オフラインでの静的な構成を通じて、イメージ管理機能を物理 PC に提供します。

Q：App Volumes と ThinApp の違いについて教えてください

A：App Volumes は、仮想環境向けの、アプリケーションとユーザーの管理ソリューションです。VMware ThinApp は、アプリケーションをオペレーティング システムから分離し、IE6 などのレガシー アプリケーションを、Windows 7 などのサポート対象外のオペレーティング システムでネイティブに実行できることなどが、メリットとして挙げられます。ThinApp は、CIFS 共有からネットワーク経由でストリーミングするのではなく、App Volumes を通じて VMDK として提供できます。詳細については、<https://www.vmware.com/resources/techresources/10411> (英語) を参照してください。

Q：デモや評価版はどこで入手できますか

A：App Volumes は、VMware ハンズオン ラボ、または my.vmware.com で提供している評価版をご利用いただけます。

ライセンス

Q：App Volumes の購入方法について教えてください

A：App Volumes は、VMware の認定パートナーからご購入いただけます。

Q：App Volumes のライセンスについて教えてください

A：App Volumes の各エディションのライセンスには、指定ユーザー単位と同時接続ユーザー単位があります。

Q：App Volumes をすでに購入している場合、アップグレードする方法はありますか

A：はい。Citrix を使用しているお客様向けに、App Volumes Enterprise へのアップグレード SKU をご用意しています。

Q：App Volumes を実行するには vSphere が必要ですか

A：いいえ。VMware vSphere® がなくても、App Volumes を利用できます。